

株主メモ

| | |
|---------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年の3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催いたします。 |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 公告掲載新聞 | 東京都において発行する日本経済新聞 |
| 株主名簿管理人 | 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱所 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル) |

各種お手続きのお取扱窓口について

住所変更や買取・買増請求等株主さまの各種お手続きのお取扱窓口は以下の通りです。

- (1) 証券会社等に口座をお持ちの場合
お取引の証券会社等になります。
- (2) 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

電話でのお問い合わせ

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

※土・日・祝日を除く9:00~17:00

- ・各種手続きお取扱店

みずほ証券

本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。

みずほ信託銀行

本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求・買増請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)は、市場での売買ができません。以下の方法にてご所有の単元未満株式を整理することができますので、ご案内いたします。

買取請求

当社に対し、買取請求(ご売却)していただくことで、ご所有の単元未満株式を代金と引き換えることができます。

買増請求

ご所有の単元未満株式につき、1単元(100株)までの不足分を当社に対し買増請求していただくことで、単元株式とすることができます。

「単元未満株式の買取請求」または「単元未満株式の買増請求」を希望する株主さまは、上記のお取扱窓口へお問い合わせください。手数料はいずれも無料です。

買増請求の具体例

現在70株ご所有の場合、30株を当社から買増しすることにより1単元(100株)にすることができます。



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない[水なし印刷方式]を採用しています。

日本空港ビルデング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000(代表)

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>



日本空港ビルデング株式会社
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード：9706

株主・投資家の皆さまへ

第72期 株主通信

第2四半期

2015年4月1日~2015年9月30日





代表取締役社長

鷹城 勲

Q 訪日外国人旅客が増加していますが、航空業界の動向について教えてください。

A 首都圏空港を中心に航空需要は拡大しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催などを控え、2020年までには、首都圏空港で年8万回の発着枠拡大が予定されています。

本年の訪日外国人旅客数は1,900万人に届く勢いであり、国が掲げる2020年に2,000万人とした当初の目標を上回るペースで増加しています。訪日外国人の旅行支出についても、免税制度の拡充や円安基調も後押しとなり、大幅な増加傾向にあります。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催やさらにその先を見据え、国等では首都圏空港のさらなる発着枠の拡大や、空港アクセスの改善等が検討されています。

今後も各種施策の効果や訪日インバウンド需要の拡充を背景に国際線を中心として航空需要は増加していくと考えています。

Q 上期の主な取組みについて教えてください。

A 中期経営計画の重点施策に取り組むとともに、さらなる空港機能の強化に努めてまいりました。

これまで、国際線国内線乗り継ぎ施設の整備やホテルの新設などの施設整備や全グループのさらなるCS向上に努めてまいりました。

今後は、既に取り組みをはじめております案内サインの多言語化をはじめ、東京オリンピック・パラリンピックや今後の発着枠拡大を念頭に、ユニバーサルデザインの強化など、さらなるターミナルの機能強化を行っていくとともに、三越銀座店に開業予定の市中免税店については、日本初の空港型市中免税店として早期オープンを目指し、最終調整を行っているところです。

これらに加え、日本の最先端技術の実用化に貢献するロボットプロジェクトにおいては、本年7月にサイバーデザイン社と基本合意契約を締結し、試験的に9月からターミナルビル内に作業支援、荷物搬送、清掃ロボットを導入しました。今後、国、関係事業者さまとも連携しながらロボット活用を検討し、羽田から日本の最先端技術を発信していきたいと考えています。

また、高等教育のグローバル化推進に貢献するUHHAプロジェクトにおいては、本年8月に、日米学生とインフラ関連実務者が日本の成長と未来のインフラについて討議を行う「日米学生会議」を羽田空港第1旅客ターミナルで開催しました。

今後も羽田空港のハブ機能を最大限活用し、産官学が連携した取り組みを推進してまいります。

なお、ケータリング事業において、昨年10月、LSG社と資本業務提携契約を締結し、コスト削減を中心とした経営効率化に加え、営業力強化を進めてきた結果、羽田、成田のいずれにおいても新規顧客を獲得し、同事業における営業収益は前年を上回りました。

Q 次期以降の取組みについてお聞かせください。

A 訪日外国人の増加を取り込むことに加え、国際化に対応した設備投資を実施します。

今後、当社グループが対応すべき課題として、東京オリンピック・パラリンピック開催へのハード・ソフト両面における具体的な対応や、国が進める日本経済・社会の発展を支える国際競争力の強化、観光立国の推進、地方の活性化に資する首都圏空港の機能強化への対応があげられます。

当社グループは、羽田空港旅客ターミナルビルが開館60周年を迎えた本年をスタートの年と位置づけ、まずは、収益の着実な拡大とハード・ソフト両面でのサービスレベルのさらなる向上を目指し、羽田空港跡地開発への参画を含め、首都圏空港のさらなる機能強化への対応を進めていく所存です。そして、国内線と国際線ターミナルで連携を取りながら、羽田を日本の経済活力の起点として日本の技術、産業、文化を世界に発信すると同時に、地域活性化の起点として、際内ハブの機能強化とこれを活かした情報発信を行ってまいります。

また、海外空港との連携を図りながら、外国人の訪日意欲を喚起すると同時に、地方とも連携し、留学や観光といった人の流れを促進することで、国内事業の活性化にも寄与できる企業集団を目指します。

そして、当社グループがこれまで培ってきたノウハウを活かし、新たな収益機会を創造していきたいと考えています。

何れにしても、需要増に対応するための大規模設備投資の必要性と合わせて、収益面では増加する訪日外国人需要のさらなる取り込み施策や、その需要だけに頼らない国内需要の活性化も中期的経営課題と捉え、2020年、さらにその先の成長の礎を築いてまいりたいと考えています。

Q 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A 今後も「オール羽田」で旅客ターミナルの利便性・快適性・機能性向上に取り組んでまいります。

おかげさまで、羽田空港旅客ターミナルはSKYTRAX社の実施する「Global Airport Ranking」において、2年連続世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得しました。

昨年は、特にアクセス面やターミナルの使いやすさなどで高い評価をいただきましたが、本年はこれまでの高い評価項目に加え、国際線国内線乗り継ぎ施設の拡充、ホームページの機能・コンテンツの充実、物販店舗や飲食店舗におけるサービス面など、さまざまな項目で高い評価をいただきました。

現在、「5スターエアポート」を獲得している空港は世界に5空港しかなく、この栄誉ある賞を2年連続で受賞できたのも、皆さま方の当社事業へのご理解とご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

今後も継続して「5スターエアポート」であることに価値があると考えていますので、引き続き「オール羽田」で旅客ターミナルの利便性・快適性・機能性向上に取り組むとともに、世界に誇れる羽田ブランドを確立することで、ターミナルビルの“あるべき姿”を追求してまいります。

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要課題の一つとして位置づけており、より一層積極的な姿勢で経営に取り組み、業績の向上に努め、今後、さらに進展する羽田の国際化も見据えた将来の大規模投資に備え、内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本としております。

当期の中間配当金につきましては、この配当方針および業績等を総合的に勘案いたしました結果、前回予想から1株当たり3円増額し15円、年間配当金予想は1株当たり30円とさせていただきます。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集 1

市中免税店OPENへ向けて

～世界の銀座がよりグローバルに、よりラグジュアリーに～

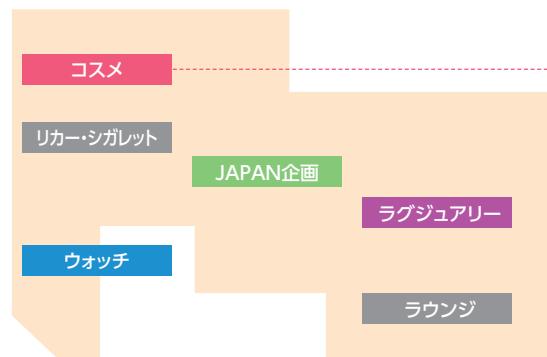
三越銀座店8階に約3,300㎡の広さで展開する市中での空港型免税店「Japan Duty Free GINZA」を2015年度内にオープンいたします。

「Japan Duty Free GINZA」の特徴

- ▶ 市中の免税店としては日本初！（沖縄除く）
- ▶ 訪日外国人の免税ショッピングが銀座三越でより便利に！
- ▶ 海外出国する日本人も免税ショッピングが可能！

「日本ならではの品揃え」、「世界ハイレベルブランド」と「日本の価値と品質」の融合を目指します。

■ 店舗展開イメージ



コスメゾーン

- コスメ** 国内外の洗練されたコスメブランドを連なる柱の連続美(森)の中で展開します。
- ウォッチ** 日本免税店初の海外ラグジュアリーウォッチのマルチブランドコンセプトに基づいてウォッチメゾンを展開します。
- ラグジュアリー** 日本免税店で人気のあるブランドと日本免税店初出店の旬なブランドを今までにない新鮮で・魅力的な店舗展開をします。
- JAPAN企画** 日本が培ってきた「本物」の技術と日本ならではの素材・材質を使用した伝統工芸品と現代の感性で生まれるあたらしい作品「日本の価値と品質」を、洗練された環境空間に展開します。

特集 2

羽田空港国内線旅客ターミナルに次世代型

ロボット導入～サイバーダイナミクス社製ロボットスーツHAL®等の運用開始～

首都圏空港を中心とした航空需要は増加を続ける中、我が国においては、少子高齢化や労働人口の減少といった課題に直面していることから、当社では旅客ターミナルにおける最先端テクノロジーの導入を検討してまいりました。

2015年7月2日、当社は、CYBERDYNE株式会社と次世代型ロボット導入等に関する基本合意書を締結、羽田空港国内線旅客ターミナルにおけるロボットの活用に向け実証実験を行ってきました。そして9月30日、羽田空港国内線旅客ターミナルにおいて、CYBERDYNE株式会社のロボットスーツHAL®等を導入いたしました。

引き続き、関係事業者さまとの連携を含めオール羽田で「世界に先駆けた、空港におけるロボット技術活用の未来像」を創出してまいります。

導入目的

- ▶ 日本の玄関口である羽田空港から日本の技術を発信
- ▶ 空港利用者に対する安全・安心・便利を前提とした良質なサービスを提供
- ▶ 空港従業員がより健康的で働きやすい環境を創出

導入ロボットと対象作業

1.ロボットスーツHAL® 作業支援用(腰タイプ)×3台

対象作業

物流関連作業、物販店における商品補充、リムジンバスの荷物積み下ろし(東京空港交通㈱の協力)



2.搬送ロボット×3台

対象作業

旅客手荷物の搬送



3.クリーンロボット×5台

対象作業

空港内清掃、店舗等の床清掃



SKYTRAX社「5スターエアポート」を 2年連続で獲得



羽田空港旅客ターミナルは英国のSKYTRAX社^(注1)が実施する“Global Airport Ranking”において、2年連続で世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得いたしました。

昨年は、特にアクセス面やターミナルの使いやすさなどで高い評価をいただきましたが、本年はこれまでの高い評価項目に加え、国際線国内線乗り継ぎ施設の拡充、ホームページの機能・コンテンツの充実、物販店舗や飲食店舗におけるサービス面など、さまざまな項目で高い評価をいただきました。

今後も全役職員が常に進化する姿勢を持ち、国内線・国際線の分けなく、すべての空港関係者と連携し、オール羽田で旅客ターミナルの機能向上に取り組み、世界中の人々から“羽田空港はすばらしい”と言ってもらえるよう、さらなる高みを目指してまいります。



2015年10月13日 羽田空港における受賞式の様子

「Global Airport Ranking 5スターエアポート」

東京国際空港（羽田空港）^(注2)

日本

香港国際空港

中国

仁川国際空港

韓国

チャンギ国際空港

シンガポール

ミュンヘン国際空港

ドイツ

(注1) 1989年創立のイギリスに拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐にわたっています。
(注2) 東京国際空港(羽田空港)の国内線第1・第2旅客ターミナルは日本空港ビルデング株式会社が、国際線旅客ターミナルは、東京国際空港ターミナル株式会社がそれぞれ所有、管理・運営しています。

「おもてなし」の心でお客さまをお迎えするために ～お客さまから信頼され、ご満足いただける羽田空港を目指して～

当社では、羽田空港をご利用になるすべてのお客さまに信頼され、ご満足いただけるように、利便性、快適性、機能性を第一に考えながら、スタッフ一同サービス向上に日々取り組んでおります。清掃を超えた「職人」として、心を込めて仕事に取り組む新津春子さんに、仕事への取り組みをうかがいました。

使う人の身になって見えないところにまで配慮する



清掃の仕事でもっとも大切にしているのは、「その場所を使う人の身になる」ことです。「自分が利用者だったら」という視点で清掃の対象を見て、目につく汚れやほこりはもちろん、目に見えないところまで徹底的に気を配り、心を込めて清掃をしています。

職人というからにはすべてに最善を尽くす

私は自分を清掃を超えた「職人」だと思っています。職人に完成形はありません。床や壁の素材の変化に合わせた清掃方法、機材や洗剤の進化、清掃手順の工夫など、取り組まなければならない課題はなくなることはありません。職人というからにはすべてに最善を尽くすべきと考えています。



日本空港テクノ(株)環境マイスター 新津 春子

「自分で考える」ことのできる次世代の職人を育てる

現在、私は教育係として、スタッフの育成にも取り組んでいます。教育係として心がけているのは「自分で考えられる人」を育てることです。手順通りにやったはずでもやり残しが見つかることがあります。そんなとき「なぜやり残しが生じたのか、どうすればなくせるのか」を考え、利用者目線で仕事ができる次世代の職人をどんどん育てていきたいと思っています。

安心・安全は「おもてなし」の第一歩

当社の社員は、普段は施設のご案内や販売などの業務を行っておりますが、火災や地震などの災害時の初期活動や救急救護活動を円滑に行い、お客さまの安全を確保するために、自衛消防隊としての訓練を重ねております。

毎年消防署にて、自衛消防隊の活動技術向上と士気高揚を目的に実施されている「自衛消防隊訓練審査会」では、当社男子隊が条列隊の部^{*}で、当社女子隊が女性隊部門でそれぞれ優勝いたしました。

今後も積極的に防災訓練を実施し、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

^{*}条列隊の部…東京都火災予防条例で設置が義務づけられている自衛消防隊の部。



(株)羽田エアポートエンタープライズ 東京食費館B 桑原 豪士

TOPIC 1

空港の出発ロビーがかつて見たことのないスケールで包まれた 羽田空港ターミナル60周年展を開催



2015年5月20日の羽田空港旅客ターミナルビル開館60周年を記念して、羽田空港第1旅客ターミナルビルおよび第2旅客ターミナルビルの出発ロビーを舞台に、総面積2,165.54㎡、総写真点数498枚という国内最大級の空港写真展を行いました。

1955年の開館以来、60年もの歴史を重ねてきたこれまでの活動風景を、施設の高さや広さを活かしながら見上げるようなスケールで展示、これまでの歴史や挑戦を振り返るとともに、今後100周年、そしてその先に向けても「前例にはない、でも、未来にとってはきっと“あたりまえ”のものを生み出し続けること」をテーマに展開いたしました。

展示スペースは、出発ロビーや周辺のエスカレーターを中心に展開したため、期間中、搭乗されるお客さまはもちろんのこと搭乗のないお客さまにも、羽田空港および当社の歩みを知っていただけるイベントとなりました。



第1旅客ターミナルビル 出発ロビー



第1旅客ターミナルビル 出発ロビー



第2旅客ターミナルビル 出発ロビー



第2旅客ターミナルビル マーケットプレイス

羽田空港60周年のバーチャル写真展を右記のURLでご覧いただけます。
パソコン、スマートフォンのいずれでも閲覧ができます。

<http://haneda-terminal60th.jp/>

TOPIC 2

第1旅客ターミナルで「第67回日米学生会議」を開催



一般財団法人国際教育振興会が主催する「第67回日米学生会議」が、2015年8月18日に第1旅客ターミナルで開催されました。

本会議は、日米の学生が1934年に創設した日本最古の学生会議で、相互理解を通じたグローバルなリーダーシップの育成や日米関係の維持発展を目的としています。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、その玄関となる羽田空港を舞台に、今後の日本の成長と未来のインフラのあり方について、第一線で活躍するインフラ関連事業の実務者と未来を担う日米72名の学生による討議が行われました。

TOPIC 3

「おおた博覧会 in 羽田空港」開催

当社の地元である東京都大田区の地域振興の一環として、大田区の技術・産業・文化・歴史などの魅力を伝えるイベント「おおた博覧会 in 羽田空港」を、2015年6月6日～12日の期間に、第2旅客ターミナル5階 FLIGHT DECK TOKYOで開催いたしました。

開催期間中、多くの方々を訪れ、大田区の魅力に触れていられました。



TOPIC 4

イタリア・イモラ国際ピアノアカデミー サマーフェスティバル凱旋帰国記念コンサート



第1旅客ターミナルにおいて、イモラ国際ピアノアカデミー・プロジェクトジャパン*の主催による「サマーフェスティバル凱旋帰国記念コンサート」が開催されました。

イタリア・イモラ市で開催された音楽祭「サマーフェスティバル」に参加した若き6名のピアニストたち(小学生～大学生)が、エネルギッシュなピアノの生演奏を披露し、多くの聴衆を魅了しました。

*イモラ国際ピアノアカデミー・プロジェクトジャパンは、世界トップクラスのピアノ名門校「イモラ国際ピアノアカデミー」とプロピアニスト横山 緑(よこやま りよく)氏のコラボ企画により誕生した若きピアニストの育成・支援団体です。

TOPIC 5

食べておいしい、見て楽しい新しいショップがオープン



「Mercedes me Tokyo HANEDA」 (メルセデス ミー 東京羽田)

▶ 第2旅客ターミナル マーケットプレイス 地下1階 ■ 営業時間 9:00~21:30 (ラウンジのみ20:00まで)



「Mercedes me」の、世界で3店目、アジア初の常設店。レストラン、カフェ、ラウンジの3つのスペースがあり、周辺にはメルセデス・ベンツの車両を常時展示。お客さまに旬な情報をご提供します。

第2旅客ターミナル地下1階



自由が丘バーガー羽田店

▶ 第2旅客ターミナル 3階 UPPER DECK TOKYO ■ 営業時間 8:00~20:00



国産牛100%のパテや天然酵母で作ったパンズ、有機ケチャップなど、こだわりの食材を使った“おいしい×あんしん＝やさしい”ハンバーガーを提供します。



JIYUGAOKA
BURGER
自由が丘バーガー

第2旅客ターミナル3階



ヨコハマハイカラレーベル 羽田空港ポップアップショップ

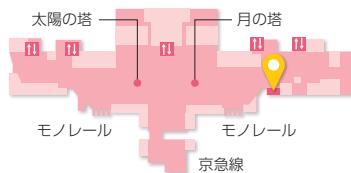
▶ 第1旅客ターミナル 地下1階 ■ 営業時間 10:00~19:00



「わたしが、気になる10のおみやげ」をコンセプトにセレクトした横浜みやげのブランド「ヨコハマハイカラレーベル」のポップアップショップが東京初出店。

2016年
2月29日(月)
まで

第1旅客ターミナル地下1階



TOPIC 6

1 かきたねキッチン

多国籍料理のエッセンスを取り入れた楽しい「フレーバー柿の種」をお届けします。10種類以上の柿の種からお好きなお味を選んでいただけます。柿の種にさまざまなナッツを組み合わせ、可愛いキューブボックスはプチプレゼントに最適です。



フレーバー柿の種各種

販売期間

2015/10/15~2016/1/14

2 ラ・メゾン白金

東京白金のフレンチレストラン「ラ・クープドール」より、素材やショコラにこだわったスイーツをお届けします。代表商品の「ショコラサンド」は、サクサクのクッキーにベルギー産クーベルチュールチョコレートをつたぱりサンドした贅沢な逸品です。



ショコラサンド

販売期間

2015/10/1~2016/1/14



「羽田スタースイーツ」に 人気ブランドが登場

スターになるブランドを羽田空港から全国・世界に発信するスイーツのセレクトショップ「羽田スタースイーツ」から4つのブランドをご紹介します。

販売場所

羽田スタースイーツ

羽田空港第1旅客ターミナル
マーケットプレイス2階
営業時間：6:00~20:00



3 アイボリッシュ

福岡のフレンチトースト専門店。やわらかな食感を出すため、フレンチトースト専用のパンを開発し、オリジナルレシピのアパレイユ(卵液)と発酵バターを贅沢に使用して、独自の味と食感を表現しています。



フレンチトーストプレミアム
プレーン

販売期間

2015/12/1~2016/1/14

4 山田屋まんじゅう

慶応3年の創業以来140年にわたり作り続けられてきた「山田屋まんじゅう」は海外にも多くのファンを持つ一品。品質の安定のため毎年数種類を食味して選んだ北海道十勝産小豆を100%使用しています。



山田屋まんじゅう

販売期間

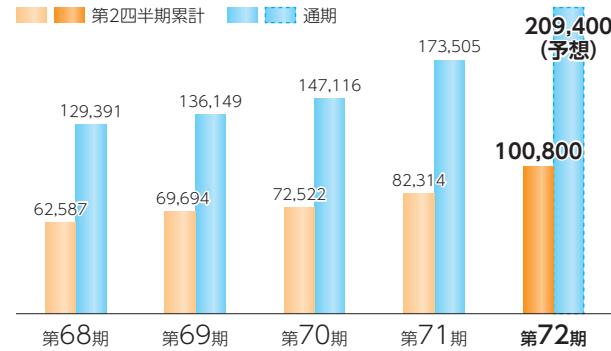
2015/12/1~2016/1/14

連結業績ハイライト

営業収益

(単位:百万円)

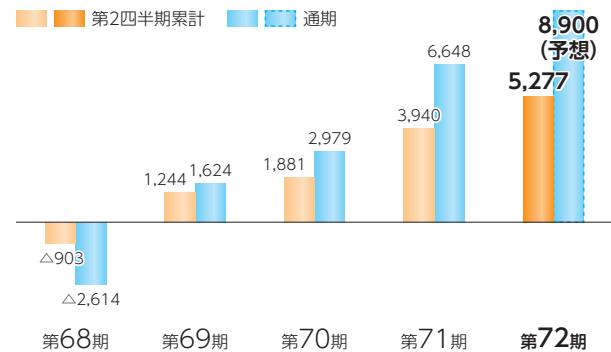
100,800百万円 (前年同期比21.6% )



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

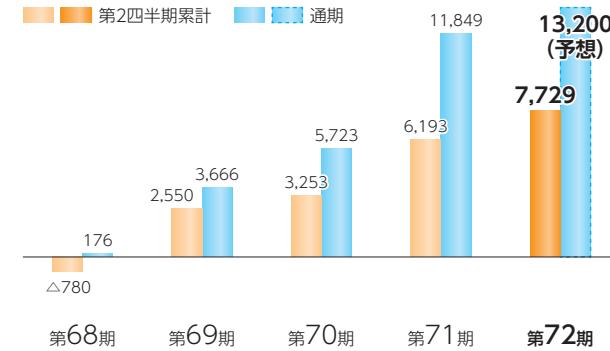
5,277百万円 (前年同期比33.9% )



経常利益

(単位:百万円)

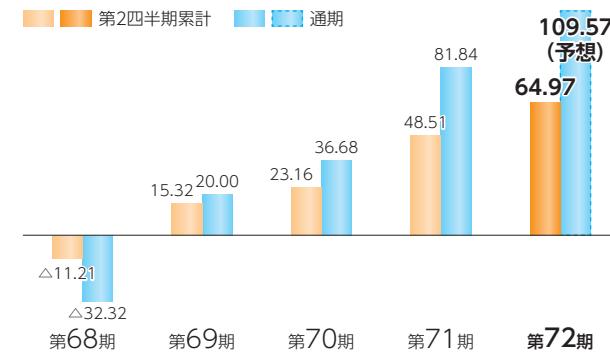
7,729百万円 (前年同期比24.8% )



1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)

64.97円 (前年同期比16円46銭 )



決算のポイント

ポイント1

訪日外国人旅客の増加を取り込み、増収増益

ポイント2

営業収益・営業利益・経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益において過去最高

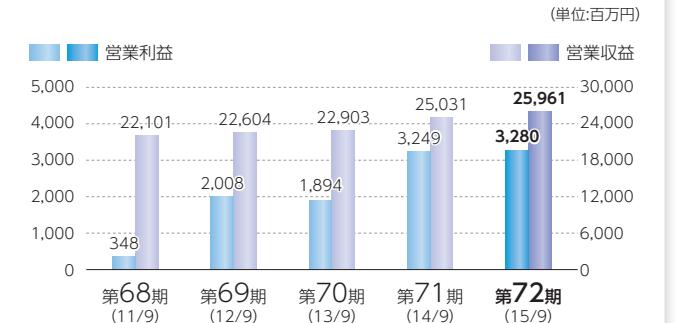
事業別概況

施設管理運営業



前年同期比
増収増益となりました。

- 羽田空港国際線旅客ターミナルビルにおける業務受託料収入や「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」による収入の増加等により増収。
- 営業利益は修繕費の増加等のため微増にとどまる。

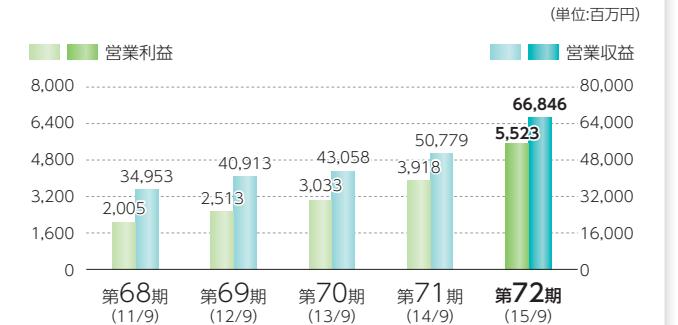


物品販売業



前年同期比
増収増益となりました。

- 訪日外国人旅客数の大幅な増加及び集客施策の奏功等による国際線売店売上及びその他の売上(卸売)が大幅に増加。
- 国内線売店売上も、イセタン羽田ストア2店舗の販売が好調で増加。



飲食業



前年同期比
増収増益となりました。

- 羽田空港国内線旅客ターミナルビルおよび国際線旅客ターミナルビルでの新規店舗展開等により飲食店舗売上が増加。
- 外国航空会社の増便や新規取引等により、機内食売上が増加。



四半期連結貸借対照表のポイント

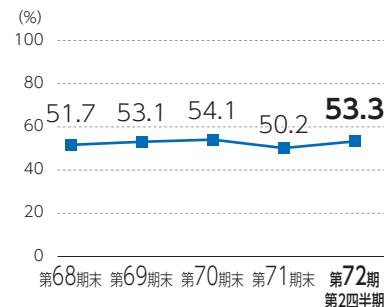
① 負債合計

長期借入金、短期借入金の減少などにより、前期末と比べて85億1千4百万円減少の971億8千5百万円となりました。

② 純資産合計

利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末と比べて47億1千9百万円増加の1,172億4千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は53.3%(前期末は50.2%)となりました。

自己資本比率



(単位:百万円)

| 四半期連結貸借対照表 | 前期 2015年3月31日現在 | 当第2四半期 2015年9月30日現在 |
|--------------|--------------------|------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 69,480 | 68,493 |
| 固定資産 | 148,748 | 145,941 |
| 有形固定資産 | 109,453 | 105,709 |
| 無形固定資産 | 1,416 | 1,400 |
| 投資その他の資産 | 37,878 | 38,831 |
| 資産合計 | 218,229 | 214,435 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 38,029 | 35,226 |
| 固定負債 | 67,669 | 61,958 |
| ① 負債合計 | 105,699 | 97,185 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 108,808 | 113,110 |
| その他の包括利益累計額 | 795 | 1,230 |
| 非支配株主持分 | 2,926 | 2,908 |
| ② 純資産合計 | 112,530 | 117,249 |
| 負債純資産合計 | 218,229 | 214,435 |

(単位:百万円)

| 四半期連結損益計算書 | 前第2四半期 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日 | 当第2四半期 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日 |
|------------------|--|--|
| ③ 営業収益 | 82,314 | 100,080 |
| 営業総利益 | 40,421 | 45,611 |
| ④ 販売費及び一般管理費 | 35,386 | 39,033 |
| 営業利益 | 5,035 | 6,578 |
| 営業外収益 | 1,620 | 1,581 |
| 営業外費用 | 462 | 429 |
| 経常利益 | 6,193 | 7,729 |
| 特別損失 | 22 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,170 | 7,725 |
| 法人税等 | 2,218 | 2,447 |
| 四半期純利益 | 3,951 | 5,278 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 10 | 1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,940 | 5,277 |

四半期連結損益計算書のポイント

③ 営業収益

訪日外国人旅客の増加や購買単価の改善などによる国際線売店の売上増加や国際線旅客ターミナルビルにおける業務受託料収入の増加などにより、前年同期比21.6%増の1,000億8千万円となりました。

④ 販売費及び一般管理費

売上増加に伴う費用のほか、国内線旅客ターミナルビルのリニューアルなどにより、前年同期比で増加しております。

会社概要 (2015年9月30日現在)

会社概要

| | |
|------|--|
| 商号 | 日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd. |
| 設立 | 1953年7月20日 |
| 資本金 | 174億8,920万円(東証一部上場) |
| 事業内容 | (1) 羽田空港旅客ターミナルビル等の建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務 |

本社及び営業所など

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 本社 | 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル) |
| 東京事務所 | 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階) |
| 成田営業所 | 千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル) |
| 大阪営業所 | 大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地 |
| 中部営業所 | 愛知県常滑市栄町一丁目124番地 |

役員

| | | | |
|--------------|-------|---------|-------|
| 代表取締役社長執行役員 | 鷹城 勲 | 監査役 | 古賀 宰 |
| 代表取締役副社長執行役員 | 横田 信秋 | 監査役 | 小野 哲治 |
| 代表取締役副社長執行役員 | 鈴木 久泰 | 監査役(社外) | 赤井 文彌 |
| 専務取締役執行役員 | 那波 史郎 | 監査役(社外) | 樋口 公啓 |
| 専務取締役執行役員 | 赤堀 正俊 | 監査役(社外) | 竹島 一彦 |
| 専務取締役執行役員 | 越智 久男 | 専務執行役員 | 河合 誠 |
| 専務取締役執行役員 | 米本 靖英 | 常務執行役員 | 阿南 優樹 |
| 常務取締役執行役員 | 篠原 敏夫 | 常務執行役員 | 仲野 眞琴 |
| 常務取締役執行役員 | 加藤 勝也 | 常務執行役員 | 徳武 大介 |
| 常務取締役執行役員 | 知久 守一 | 常務執行役員 | 久保 健治 |
| 常務取締役執行役員 | 田中 一仁 | 執行役員 | 大谷 益夫 |
| 取締役(社外) | 大西 賢 | 執行役員 | 川崎 智洋 |
| 取締役(社外) | 高木 茂 | 執行役員 | 藤野 威 |
| 取締役(社外) | 伊藤 博行 | 執行役員 | 小山 陽子 |
| 取締役(社外) | 原田 一之 | 執行役員 | 藤本 篤史 |

グループ会社 (2015年9月30日現在)

施設管理運営

| | |
|------|--|
| 保守管理 |  日本空港テクノ(株) 空港ターミナル施設等の保守管理、 環境衛生管理および請負工事 |
| |  羽田エアポートセキュリティ(株) 警備業務および駐車場管理業務 |
| |  (株) 櫻商会 エアポートクリーンセンターの運営 および廃棄物処理 |

サービス

| | |
|------|--|
| サービス |  (株)ビッグウイング 広告代理業、イベントの企画および 運営 |
| |  羽田旅客サービス(株) 旅客サービス業務 |
| |  ジャパン・エアポート・ グランドハンドリング(株) 旅客ハンドリング業務 |

物品販売業

| | | |
|-------|--|---|
| 物品販売業 |  (株) Japan Duty Free Fa-So-La 三越伊勢丹 空港型市中免税事業 |  (株) 羽田エアポートエンタープライズ 店舗運営業 |
| |  国際協商(株) 食品および雑貨の卸売事業 |  (株) 浜貝 海産物の卸売業および販売 |
| |  (株) 日本空港ロジテム 商品の運送業および配送業 |  羽双(成都) 商貿有限公司 成都双流国際空港における物販事業および成都市内の飲食事業 |

飲食業

| | | |
|-----|--|--|
| 飲食業 |  東京エアポートレストラン(株) 飲食店業および軽食の販売 |  (株) シー・ティ・ティ 航空機内用品および食器類の洗浄 |
| |  コスモ企業(株) 機内食製造販売 |  会館開発(株) 飲食店業、宿泊・ホール・会議室の管理運営 |

株式情報 (2015年9月30日現在)

株式の状況

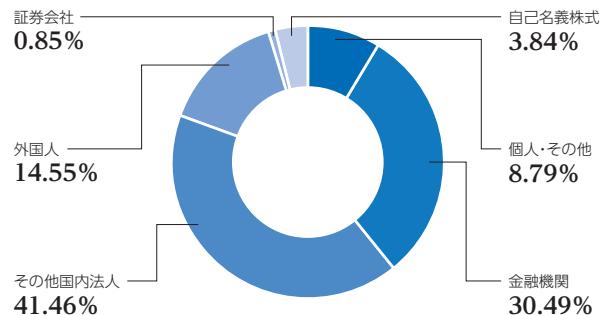
| | |
|-----------------------------|---------------|
| 発行可能株式総数 | 288,000,000 株 |
| 発行済株式の総数(うち自己株式 3,247,362株) | 84,476,500 株 |
| 株主数 | 13,133 名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|-------------|-------------|
| 日本航空株式会社 | 4,398 | 5.41 |
| ANAホールディングス株式会社 | 4,398 | 5.41 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口) | 3,484 | 4.28 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 3,408 | 4.19 |
| 株式会社みずほ銀行 | 3,300 | 4.06 |
| MSIP CLIENT SECURITIES | 3,117 | 3.83 |
| 三菱地所株式会社 | 3,111 | 3.83 |
| 大成建設株式会社 | 2,831 | 3.48 |
| 日本通運株式会社 | 2,337 | 2.87 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,101 | 2.58 |

(注)持株比率は自己株式(3,247,362株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布

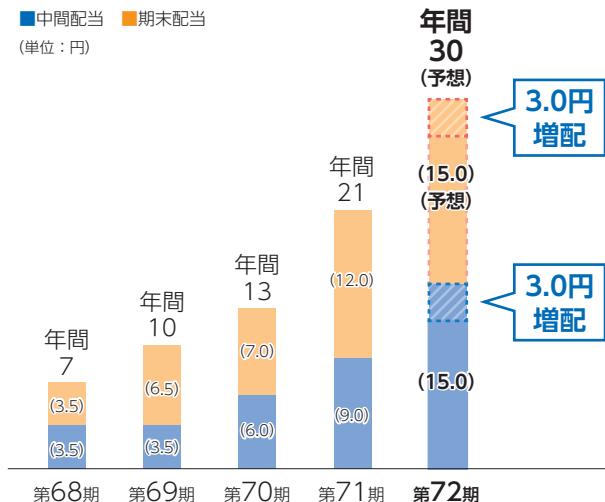


配当について

中間配当金

1株当たり **15円**

1株当たり配当金の推移



当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要課題の一つとして位置づけており、より一層積極的な姿勢で経営に取り組み、業績の向上に努め、今後、さらに進展する羽田の国際化も見据えた将来の大規模投資に備え、内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本としております。

当期の中間配当金につきましては、この配当方針および業績等を総合的に勘案いたしました結果、前回予想から1株当たり3円増額し15円、年間配当金予想は1株当たり30円とさせていただきます。

株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、株主ご優待券を贈呈させていただいております。

優待内容

| | 株主さま全員に | 3年以上保有の株主さまに |
|---------------------------------|----------------------|-------------------------------|
| ご所有株式数 100株以上 1,000株未満 | 株主ご優待券 1枚 1,000円分 | 長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 1枚 |
| ご所有株式数 1,000株以上 10,000株未満 | 株主ご優待券 2枚 2,000円分 | VJAギフトカード1,000円券 2枚 |
| ご所有株式数 10,000株以上 | 株主ご優待券 3枚 3,000円分 | VJAギフトカード1,000円券 3枚 |

株主ご優待券 + 株主ご優待割引券 + 長期保有優待

ご利用になれる店舗/対象となる株主さま

- 株主ご優待券：羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定店舗にてご利用いただけます。
- 株主ご優待割引券：羽田空港、成田空港および関西空港内の当社指定免税売店にてご利用いただけます。

株主ご優待券

- 羽田空港第1・第2・国際線旅客ターミナル、成田空港、関西空港の当社指定の店舗
 - GIFTrip by JAPAN DUTY FREE (アクアシティお台場)
 - Tokyo's Tokyo(東急プラザ表参道原宿)
- ※一部店舗、商品(金券など)によってはご利用いただけない場合がございます。

株主ご優待割引券

- 羽田空港国際線旅客ターミナル「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店」(国際線3階出国エリア)
 - 成田空港、関西空港の当社指定店舗
- ※店舗によっては一部ご利用いただけない商品がございます。

長期保有優待

- 対象: 保有継続期間が3年を超える株主さま
- (毎年3月31日現在の株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録され、かつ、同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上記載または記録された株主さま)

詳しくは、同送のご利用可能店舗一覧または以下のURLをご覧ください。

http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html